



2月26日、神島中学校3年生の小久保沙羅さんが、本年度最後となる6回目の灯油運びボランティアを行いました。



この活動は、平坦な土地が極めて少ない神島で、2004年度に当時の生徒たちが「高齢者のためにできることはないか」と話し合ったことをきっかけに始まりました。

生徒数が1人となった神島中学校ですが、小久保さんは島民の期待と伝統を胸に活動を続け、この日も島の人々へ丁寧に灯油を届け、「島のみなさんの役に立てて嬉しかった。先輩たちから受け継いできた活動を、今年度も続けられてよかったです」と話してくれました。

神島中学校 灯油運びボランティア活動終了



1月11日、幸丘の公園で地域のかたや子どもたち27人が集まって、遊具の修繕を行いました。

これは、子育て応援!! 0.1.2.3サークルが呼びかけ、サークルメンバーのほか町内会や周辺子どもたちが参加して行われたもので、古くぺちゃんこになったタイヤを埋め直したほか、ブランコなどにもみんなでペンキを塗りなおし、公園遊具がかわいく生まれ変わりました。



みんなの力で公園遊具復活!



2月4日、株式会社アスリードプラスより市内保育所へ絵本108冊を寄贈いただき、船津保育所にて寄贈式が行われました。

同社では、家庭などから不要になった本を譲り受け、利用者がクリーニングを行い、その本を販売する事業を実施しています。その事業の中で、きれいになった絵本を鳥羽市の子どもたちへ届けたいという思いから、絵本を寄贈していただきました。

子どもたちは、一人ずつ絵本を受け取り、お礼に歌のプレゼントを贈りました。

絵本を寄贈していただきました!



3月11日、安楽島キッズ探検隊が市長室を訪れ、第22回「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」で「ぼうさい探検隊賞」を受賞したことを報告しました。

入選した作品は、昨年の夏に発生したカムチャツカ半島付近を震源とした地震による津波の避難指示に対し、まちの人がどう行動したかを聞き取り、まとめたマップです。

市長室では、子どもたちが聞き取り調査やマップを作成して気づいたことなど発表し、「まちをいっぱい歩いて調べたマップが入選してうれしい」と話してくれました。

ぼうさい探検隊マップコンクールで入選